

令和4年度仙台市障害者等保健福祉基礎調査

アンケート調査 主な変更点について

1. 総質問数

平成28年度と令和4年度のアンケート調査の総質問数の比較は下記の通り。

調査対象者	令和4年度 質問数	平成28年度 質問数	増減
① 身体障害者本人（65歳未満）	75	63	12
② 身体障害者本人（65歳以上）			
③ 知的障害者本人	52	45	7
④ 知的障害者の家族	78	65	13
⑤ 障害児の家族（18歳未満）	75	63	12
⑥ 精神障害者本人（通院）	76	62	14
⑦ 精神障害者本人（入院）	28	26	2
⑧ 精神障害者の家族	77	62	15
⑨ 難病患者本人	74	63	11
⑩ 発達障害（児）者本人	75	61	14
⑪ 発達障害（児）者の家族	86	63	23
⑫ 市民	41	38	3

2. 主な変更点概要

（1）法制定・改正に伴う質問項目の新設

- ① 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律
 - ・ 文化芸術の鑑賞、活動希望に関する項目を新設。
- ② 災害対策基本法
 - ・ 個別避難計画に関する質問を新設。

※その他、調査が必要な事項についてはヒアリングで対応予定。

（2）電子申請を可能な調査票に設計

- ・ 回答率向上のため調査票に二次元コードを掲載し、電子申請回答を可能とする。

（3）回答対象者の拡充

- ・ 「⑤障害児の家族（18歳未満）」の支援意向等の一部質問項目について、「⑪発達障害（児）者の家族」に同じ質問項目を追加。
- ・ 災害時に関する一部質問項目について、「③知的障害者本人」にも同じ質問項目を追加。

(4) その他質問項目の変更点

- ・ 社会参加の状況について、新型コロナウイルス感染症発生前後の変化を確認する質問項目を追加。
- ・ スポーツ・レクリエーション活動に関する質問項目を新設(具体的内容、活動の頻度、実施に向けて必要なこと)。
- ・ 生涯学習の機会希望に関する質問項目を新設。
- ・ ヘルプマークの認知度に関する質問項目を新設。
- ・ 精神科に入院中の方から幅広く意見を聞くための質問項目を追加。
※「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に関して、生活の基盤となる住まいの場の確保に必要な取組みや課題に係るもの。